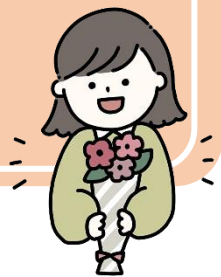


2025. 3 月 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム 「コミュニケーションはアイデンティティ」

いよいよ3月、街や駅ターミナルに盛装の若者や親世代の人たちが行き交います。道に不慣れな人たちも多くなります。晴々とした表情、心細げな様子も、なんとなく微笑ましい。この時季らしい風景ですね。

さて、今年度のこの『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』も最終月になりました。「コミュニケーション」は、人によって捉え方に幅のあるテーマです。「話し方」の範疇にとどまる人もいますが、組織の戦略やマーケティング、「政治宣伝」や「異文化コミュニケーション」も抱え込むテーマです。とても語り尽くせるものではありませんが、夢をカタチにしようと奮闘するみなさんへのメッセージとして、小さな「まとめ」を試みようと思います。題して、「コミュニケーションはアイデンティティ」。

少し古い話になりますが、『ハーバードビジネススクールは何をどう教えているか』（経済界 1986年）の中にカリキュラムと日程が紹介されています。「経営管理」や「マーケティング」など全11部門の一つに「マネジメントコミュニケーション」があり、日程は「マーケティング」よりも多い。講義内容は12項目あり、「インタビュー技術」や「討論技術」を含んでいます。本文には次のような一文があります。「ビジネスの成否はコミュニケーション技術で決まる。社内・社外へのコミュニケーションをいかにしっかり行っているかが鍵となっているといっても過言でない」。

「技術」は物事の取扱うための方法や手段、それを効果的に行うための〈腕前〉が「技能・スキル」です。その技能は個々人の（身体能力を含めた）全体の能力の一部です。わたしたちは誰一人として同じ人はいないので、能力も多種多様、その発揮の仕方も同じではありません。そもそも、コミュニケーションに対する考え方や感じ方、意識や意欲も十人十色。例えば、対人関係で相手が誤解していそうだと感じた時に、それを解こうと相手にアプローチする人がい

れば、気分を害されても困ると考え、あえて言わない人もいるでしょう。

社会生活にコミュニケーションは不可欠。ビジネスの成否に限らず、家庭でも学校でも、交友関係でも、コミュニケーションのあり方次第で物事が円滑に進んだり停滞したり、人間関係がよく続いたり、断たれることもあります。『The Good Life』（辰巳出版2023年）という本は、ハーバード大学の長期にわたる「幸福」研究の結果をもとに、「幸せな人生の条件とは、よい人間関係」と結論づけました。「よい人間関係」、その象徴は「信頼関係」でしょう。仕事でもプライベートでも、「信頼関係」を築くことの大事さは誰でも知っています。問題はその実践、わたしたち個人の実践です。

コミュニケーション技術を知ろうとすることも、〈腕前〉をあげるために何度もやってみようとするのも、あなた次第。時には、技術や技能をこえ、言葉を尽くして説得しようとするより、あなたの姿勢そのものが相手の心につよく響くことがある。それもまた「コミュニケーション」の働き、自身のあり様がコミュニケーションそのもの、コミュニケーションはアイデンティティの表れ、と言えるのではないのでしょうか。あなたの意識、知識、技能、センスに、自身で時より厳しい視線をむけつつ、個性を大切に、仕事で、プライベートで、まわりの人々も大切にしながら自分を生きていく、活動していく。誰にでも理解されるということはありません。自身の活動にも、コミュニケーションにも、潔さが大切ですね。

これから春本番、晴々と、清々しく、そして凛として、目指すところへ進んでいきましょう、みなさん。「女性チャレンジ応援拠点」スタッフ一同、引き続き後押ししていきます。みなさまのご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※ 開室日

※ 日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

